



東北大学

国際共修 (Intercultural Collaborative Learning : ICL)

国際共修ネットワークによる大学教育の内なる国際化の加速と世界展開

様々なステークホルダーが自由に参加できる国際的なネットワークへと発展

ICL-Channels

国内外の大学のみならず、企業や地域社会等の多様なステークホルダーが参画する国際共修ネットワーク

- THE世界大学ランキング日本版で2年連続1位
- SGU2020年度中間評価：S評価
- 2010年代前半の6年間でICL科目の開講数と履修者数をともに3倍増（現在年間70科目開講）
- 大学間コンソーシアム「学都仙台」や環太平洋大学間コンソーシアム「APRU」にICL科目を単位互換可能な形で開放

主管校
東北大学

福島大学

信州大学 東京外国語大学

神戸大学

大阪大学

学際領域⑤ 日本文化・社会

東北大学、東京外国語大学、大阪大学、神戸大学

学修到達目標：日本の文化・歴史・慣習・社会事情に深い造詣をもち、日本の魅力や課題を多角的な視点で分析・議論する力を身につける

学際領域③ 異文化理解

東北大学、信州大学

学修到達目標：言語・文化背景の異なる人々を理解・受容し、自文化をクリティカルに再考する中で、新しい価値観や創造力を身につける

学際領域①SDGs

東北大学、東京外国語大学、大阪大学、神戸大学

学修到達目標：持続可能な開発目標に対する理解を促進し、多様な視点で世界共通の課題に対する解決策を地球市民として提案する力を伸ばす

学際領域② 震災・復興

東北大学、福島大学、神戸大学

学修到達目標：阪神・淡路大震災、東日本大震災の被害や減災・防災について学び、復興のプロセス・成果を世界に発信する力を身につける

学際領域⑥ 地域社会との協働

東北大学、福島大学

学修到達目標：地域社会の魅力や課題、また地域に暮らす人々を理解し、グローバルな視点で地域の発展につながる提案力・行動力を身につける

学際領域④ 産学連携・リーダーシップ

東北大学、信州大学、神戸大学

学修到達目標：グローバルな環境で価値観の異なる人々とも協働し、課題発見・解決に能動的に関わろうとするコミュニケーション力・行動力・リーダーシップを習得する